



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2019

7月26日号

171
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

いわきFCにエールを



会長 新里 昌一

第3回東北放射線医療技術大会が、福島市で平成24年に開催されました。そのため、星総合病院で開催された県学術大会を講演のみの形で2月に開催しました。一般公開講演を、4月からJ3に参入する福島ユナイテッドの鈴木社長に依頼しました。私が発案して企画を実現させたものですが、星総合病院の許可を得てグッズ販売もしました。そんな私のサッカー好きは、県内に浸透してしまったようです。令和元年の県定時総会はいわき市で開催されました。浜通り地区の皆さんが気を遣っていただき、一般公開講演は「いわきFC」となりました。いわきFCをサポートする(株)ドームは、いわき市と震災後の救援からのご縁で、東北一の都市にしたいとの理想を掲げて活動しています。いわきFCは、本当にいわき市に必要とされるチームに成りつつあります。サッカー好きの人でも、欧州の魅力に取り憑かれて日本のサッカーを見ない人もいます。確かに欧州サッカーは迫力がありますが、基本は地元チームへの応援・愛だと思っています。

いわきFCと福島ユナイテッドの情報は、日頃からニュースをチェックしています。勿論、FC東京の情報チェックも欠かしません（結局、サッカー全般チェックしています（笑））

いわきFCは地域リーグですが、天皇杯ではJ3の福島ユナイテッドに3年連続勝利して、県代表となっています。Facebookには地域市民との交流が良く掲載されていて、とても微笑ましく思います。2018年は、社会人2部では全勝して1部昇格を果たしました。その後はJFL・J3となりますが、JFLからJ3の道は非常に過酷です。まずはJFL昇格を勝ち取りましょう。平成30年は、JFLから八戸がJ3に参入して東北全県にJリーグのチームが存在します。これを目指して、いわきFCもJへの扉を開いて欲しいです。

また、尚志高校がプレミアリーグに昇格しました。このプレミアリーグは、Jチームユースと高校（10校のみ）の全国の頂点です。県内のレベルアップに繋がる事でしょう。尚志高校は高校選手権でも、J内定者の居る優勝候補チームを次々倒して大活躍しました。準決勝では優勝校の青森山田に惜敗しましたが、その青森山田で活躍したMFバスケス・バイロンが、いわきFCに入団したので将来が楽しみです。

思い起こせば、いわきでの定期総会で理事になり、4年前には会長に任命されました。あれから4年間を無我夢中で活動をして来ました。勿論、本当に多くの方々に支えられてきた事には、深く感謝をしています。

平成30年3月に還暦を迎えて定年、同年4月から定年延長となっています。いわきFCの活躍を心の糧として、もう1期会長職を頑張りたいと思います。令和2年秋の第10回東北放射線医療技術大会の大会長は、最後の花道となります。これからも会員の皆さんには、ご協力を宜しくお願いいたします。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均

皆さま、こんにちは。前号では「令和元年」ですかね…とたどたどしく使っておりましたが、もうここに来てすっかりなじんだ感じがですね。日本人は熱しやすく冷めやすいと言いますが、その新たな状況をさっと取り入れて落ち着く、というのは良い特性のようにも思います。これは振動しているものが発散せずに収束する、ということにつながるでしょうか…。「振動」「発散」そして「収束」とくれば、数列の極限ですね！収束すれば極限值が有り、発散の場合は極限值はない、そして振動の場合は極限はない、ということでした…よね？ これをお読みの先生方は高校時代に一度は学んだと思うのですが…覚えていらっしゃるでしょうか？

さて、なぜいきなり（それも少々強引に(^_^;)) 数列が出てきたか？といえますと、これは数Ⅲで学ぶ内容なのです。数Ⅲと言えば…入試ですよ。先生方も多分楽しくなかった記憶が蘇ってくるのではないのでしょうか？ということで今号では新学部の入試についてご案内いたします。私ども新医療系学部設置準備室では、1期生となる令和3年度入学生向けの入試情報を公開しました。我々の新しいホームページ (<https://fmu-hs.jp/>) で是非ご確認ください。（「入試情報」のところにあります）ここには、Ⅰ 求める学生像、Ⅱ 募集人員、Ⅲ 学校推薦型選抜、Ⅳ 一般選抜に関する情報が載っています。

一部抜粋します。

まず、保健科学部が求める学生像は以下のようになっています。

保健・医療・福祉分野において重要な役割を担い、いのち、健康および生活を守り、かつ、生涯にわたって学習・科学する意欲を持ち続ける専門医療技術者（理学療法士、作業療法士、診療放射線技師および臨床検査技師）を養成します。

大学の理念・目標を実現するために、次のような人材を求めます。

1. 専門医療技術者として「いのち」、「健康」および「生活」を支える意欲を有する人
2. 科学的探求心と創造性を備え、高度な専門知識と技術を主体的に学ぶ姿勢を有する人
3. コミュニケーション能力にすぐれ、高い倫理観と協調性を有する人
4. 東日本大震災を経験した福島の地で学修するという意欲を有する人
5. 本学部で学ぶための十分な基礎学力を有する人

これは、お読みいただければご理解いただけると思います。入試に関する事項は非常にデリケートですのでこれ以上の言及は避けませんが、以上が我々が来て欲しいと考えている学生像です。

募集人員は、診療放射線科学科は1学年25名です。このうちの約4割（10名程度）が学校推薦型選抜、つまり推薦入試枠となります。残りの15名程度は一般選抜の前期日程となり後期日程はありません。

学校推薦型選抜については、入試情報のとおり福島県内に所在する高等学校を令和3年3月、又は令和2年3月に卒業した者が対象です。一つの高等学校からは各学科につき2名まで推薦していただけます。また共通テストで課す教科・科目を履修していなければなりません。診療放射線科学科については、加えて数学Ⅲを履修している者に限る、としています。出てきました「数Ⅲ」です！選抜方法は小論文、面接、英語認定試験成績、出願書類の審査結果の総合となっています。

一般選抜は、入学志願者が募集人員の4倍を超えた場合に行う第1段階選抜を含め、2段階で実施します。大学入学共通テストの受験を要する科目等については、入試情報をご確認ください。放射線科学科としては、ごく一般的な科目構成になっていると思います。第2段階選抜は大学入学共通テスト、個別学力検査、面接および出願書類を総合して行います。これも詳細は入試情報をご確認いただきたいのですが、個別学力検査は数学、英語、理科1科目となっています。

ご家族、ご親族、ご友人など、ご興味をお持ちの方々へ情報が出ているよ、とお知らせいただければ嬉しいです。我々

はしっかりと準備をし、我々と一緒に学び診療放射線技師として社会に貢献したい生徒の皆さんの挑戦を待っています。



左は南側から撮影した地階部分（放射線の実験室や撮影室が主に入ります）の写真、右は北側から撮影した2階部分の写真です。順調に建設工事が進んでいる（ようにみえます）。

～会長 「オンレコ」～

1 「第8回定時総会」

皆様のお蔭で、役員選挙も含めて無事に終了する事が出来ました。新しい体制で、技師会活動を進めて行きます。会長に再選となりましたので、またオンレコを書き続けます。その後の第2回理事会で、各地区協議会役員の承認を決めました。また今回は元号の変わり目でしたが、公文章が元号表記なので県技師会も同等に元号使用にします。

2 「日放技総会と全国会長会議」

6月1日に日放技総会とワークショップ、2日もワークショップと全国会長会議と丸2日間開催されました。総会には、代議員の阿部・鈴木両副会長と一緒に参加しました。ワークショップについては日放技雑誌11月号に掲載予定です。

来年度4月施行の医療放射線線量管理・記録の規定や放射線安全管理責任者については、県HPに文章を掲載しましたのでお読みください。また、今後も情報提供を行います。

3 「合同委員会」

6月16日は、日曜日にも関わらず多くの委員に集まっていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。役員や委員会委員の交替もありますが、委員会活動を継

続して行きます。

4 「第3回理事会」

6月20日に開催され、理事・監事・事務局から活発な意見をいただきました。

- ① 研究会・勉強会参加のポイント上位者の表彰については、当初の目的を十分達成した事により廃止といたします。また、今年度から会員証を持参した方のみポイントの申請を行います。
- ② 統一講習会の日程が、今年度5回に決まりました。HPに掲載されますので、ご確認ください。
- ③ 11月10日(日)に開催予定の県学術大会ですが、非会員は参加費5,000円を徴収する事にします。
- ④ 委員会規定の一部修正を行いました。

5 「フレッシュャーズセミナー」

6月23日(日)に県内の新人20名が参加し、社会人マナーや接遇、解剖、CT画像の見方等を研修しました。最後に私から技師会について説明を行いました。企画・運営・講演を行った生涯教育理事の堀江さん、講演を行った福島医大の樵さん、お疲れ様でした。距離的な問題もありますが、ぜひ会津や浜通り地区からの参加もお待ちしております。

令和元年度 合同委員会開催

令和元年・2年度の活動を開始するに当たり、6月16日(日)太田西ノ内病院にて、合同委員会が開催され、各委員の役割が話されました。

総務企画委員会

委員長	新里昌一	県南	太田西ノ内病院	委員	花井辰夫	浜通	南相馬市立総合病院
副委員長	鈴木雅博	会津	竹田総合病院	委員	遊佐烈	県北	福島県立医科大学附属病院
委員	阿部郁明	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	斎藤康雄	県南	
委員	大和田重義	浜通	公立相馬総合病院	委員	本田清子	県北	福島県立医科大学附属病院
委員	池田正光	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	笹川克博	県南	太田西ノ内病院
委員	鍵谷勝	県南	総合南東北病院				

表彰委員会

委員長	新里昌一	県南	太田西ノ内病院	委員	大和田重義	浜通	公立相馬総合病院
副委員長	遊佐烈	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	阿部郁明	県北	福島県立医科大学附属病院
委員	池田正光	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	斎藤康雄	県南	
委員	鍵谷勝	県南	総合南東北病院	委員	伊藤陸郎	県北	
委員	鈴木雅博	会津	竹田総合病院	委員	本田清子	県北	福島県立医科大学附属病院
委員	花井辰夫	浜通	南相馬市立総合病院	委員	笹川克博	県南	太田西ノ内病院

広報編集委員会

委員長	鍵谷勝	県南	総合南東北病院	委員	菅原正志	浜通	福島労災病院
副委員長	花井辰夫	浜通	南相馬市立総合病院	委員	風間顕成	会津	高田厚生病院
副委員長	佐藤龍一	浜通	いわき市医療センター	委員	板橋聡	会津	有隣病院
委員	阿部雅浩	県北	福島県保健衛生協会	委員	元木弘之	県南	太田熱海病院
委員	安藤智則	県北	大原総合病院	委員	国分美加	県南	総合南東北病院
委員	大井和広	浜通	小野田病院				

調査委員会

委員長	佐藤佳晴	県北	公立藤田総合病院	委員	折笠秀樹	浜通	いわき市医療センター
副委員長	目黒昭夫	会津	会津医療センター	委員	遠山和幸	会津	南会津病院
委員	橋本浩二	県北	大原総合病院	委員	加藤裕之	会津	竹田総合病院
委員	佐藤勝行	県北	福島赤十字病院	委員	照井英樹	県南	太田熱海病院
委員	布川真理子	浜通	渡辺病院				

学術委員会

委員長	鈴木雅博	会津	竹田総合病院	委員	新妻知之	浜通	かしま病院
副委員長	松井大樹	県北	北福島医療センター	委員	小沼慎一郎	会津	会津中央病院
委員	小池沙織	県北	北福島医療センター	委員	二瓶秀明	会津	竹田総合病院
委員	三浦勉	県北	JCHO二本松病院	委員	村山晃治	県南	白河厚生総合病院
委員	鈴木規芳	浜通		委員	鈴木俊一郎	県南	寿泉堂総合病院

財務委員会

委員長	阿部郁明	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	山下朋廣	会津	竹田総合病院
副委員長	宮岡裕一	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	真船浩一	県南	公立岩瀬病院
委員	久米本祐樹	浜通	南相馬市立総合病院	実務	本田清子	県北	福島県立医科大学附属病院

災害対策委員会

委員長	菅野修一	県南	都路診療所	委員	鍵谷勝	県南	総合南東北病院
副委員長	佐久間守雄	県南	星総合病院	委員	大和田重義	浜通	公立相馬総合病院
委員	池田正光	県北	福島県立医科大学附属病院	実務	笹川克博	県南	太田西ノ内病院
委員	鈴木雅博	会津	竹田総合病院				

精度管理委員会

委員長	大和田重義	浜通	公立相馬総合病院	委員	高橋豊和	浜通	常磐病院
副委員長	森谷辰裕	会津	会津中央病院	委員	菊地孝典	会津	坂下厚生病院
委員	池田正光	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	皆川貴裕	会津	竹田総合病院
委員	佐藤勝正	県北	福島県立医科大学附属病院	委員	篠原宏幸	県南	土屋病院
委員	佐藤真司	県北	栢記念病院	委員	山内康彦	県南	須賀川病院
委員	佐藤智昭	浜通	公立相馬総合病院				

生涯教育委員会

委員長	堀江常満	県北	大原総合病院	委員	安達伸也	浜通	いわき市医療センター
副委員長	濱端孝彦	県南	坪井病院	委員	吉田賢	会津	会津医療センター
委員	斎藤聖二	県北	須川診療所	委員	早川努	会津	竹田総合病院
委員	相澤浩樹	県北	福島赤十字病院	委員	大原亮平	県南	太田西ノ内病院

ネットワーク委員会

委員長	菅野和之	県南		委員	小柴祐介	会津	竹田総合病院
副委員長	渡辺進	県北	わたり病院	委員	伊藤敬	県南	寿泉堂総合病院
委員	知々田勝之	浜通	鹿島厚生病院	実務	石森光一	県南	塙厚生病院

令和元年度 公益社団法人 福島県診療放射線技師会定時総会開催

令和元年5月25日(土)に、いわき市かんぼの宿いわきにて開催されました。昨年度の学術委員会及び部会の活動報告と、行事や予算が承認されました。一般公開特別講演に「いわきFC地域とともに歩む未来へ」と題し、震災以降のいわきFCの地域への関わりについてお話頂きました。今年は役員改選の年となるため、令和元年・2年度の執行部、理事と新役員が決定しました。

理事

新 里 昌 一	鍵 谷 勝
鈴 木 雅 博	菅 野 修 一
阿 部 郁 明	濱 端 孝 彦
大和田 重 義	花 井 辰 夫
堀 江 常 満	森 谷 辰 裕
菅 野 和 之	目 黒 昭 夫
池 田 正 光	松 井 大 樹
佐 藤 佳 晴	佐 藤 龍 一

監事

齋 藤 康 雄
高 橋 宏 和

事務局

遊 佐 烈
本 田 清 子
笹 川 克 博

顧問

伊 藤 陸 郎
片 倉 俊 彦

「フレッシュャーズセミナー」開催

令和元年6月23日(日)太田西ノ内病院で開催され、20名の新人技師の参加がありました。「フレッシュャーズセミナーを受講して」と題して、3名の方に寄稿いただきました。

坪井病院 稲垣 俊輔

本セミナーでは、エチケット・マナー、安全管理、感染対策、気管支解剖、診療報酬など新人に必要な多くの事を教えて頂きました。勤めている病院でも同様な研修はあったのですが、忘れてしまった事を思い出せたり、違った説明のされ方で改めて納得したりと有意義な時間となりました。言葉遣いに気を付けることや、安全な業務を行うのは当たり前の事と思いますが、常日頃から意識して、確実に実行できるようにしたいです。また、気管支体操の身体を使った直感的な覚え方は印象的でした。

本セミナーを受けて入職時の初心に立ち返ることができたと思います。職場に戻って、新鮮な気持ちで業務に

臨めます。研修の最後には、他病院の方の話を聞く時間もあり、病院間の違いなどを感じることができました。職場は違いますが、同期として切磋琢磨していきたいです。

白河厚生総合病院 赤井理紗子

感染対策の講座では、医療従事者として必ず実践すべきことを確認できました。そのなかで、患者の安全と医療従事者、医療環境にいる人々の安全を確保するためにどのような行動をとればよいか分かりました。特に、手指衛生に関して、日頃からこまめに洗っていると思っていましたが、手洗いの方法が出来ていなかったり、頻度が少ないことに気づき、もっと意識して行っていこうと感じました。

気管支解剖は覚え方の体操のおかげで覚えることができました。知識を得て考えを深めていけるように役立てていこうと思います。医療に携わる者として、診療報酬の仕組みを知れたことや普段見ている面とは異なる方向から、自分が行う業務を見られたことは大変勉強になりました。診療放射線技師の仕事を外から見ることは、技師として成長していくうえでも大切なことだと考えているので、広い視野を持っていきたいです。

今回学んだことを実践し、これからの仕事に取り組みたいと思います。

福島県立医科大学附属病院 平田 唯人

今回受講したフレッシュャーズセミナーでは、医療人としてのマナーや医療安全及び感染対策について、また、気管支解剖についてなど、分かりやすく講義していただき、得るものが多く有意義な研修でした。セミナーを通して日々の業務で必要不可欠な重要な知識を身につけることができたと思います。

また、県内の新人の診療放射線技師の方々と顔を合わせ、各病院の現状を共有することができました。このように、互いに情報を共有し、刺激し合うことで、より良い放射線技師に近づけるのだと思います。

現在は働き始めて間もなく、右も左も分からない状況ですが、自分の病院の中だけではなく、他の病院の放射線技師にも刺激を与えられるような技師を目指していきたいです。そして、今回のセミナーで学んだことを大いに活用し、少しでも早く理想の技師像に近づけるよう、日々精進していきたいです。

会 津 地 区

(風間)

(國分)

早めの納入をお願いします。

仙台市シルバーセンター



みちのくこまち 第4 回東北地区合同勉強会

0 から学ぼう！乳腺

Part 4

== 参加費 ==

会費 1,000円
 日本乳腺学会 賛助会員
 東北乳腺学会 賛助会員
 日本臨床乳腺病学会
 東北乳腺病研究会 賛助会員

正会員 2,000円
 学生：無料
 (社会人学生5割)

職種・男女問わず
 みんなで学べる
 勉強会です！
 多くの方の参加を
 お待ちします！
 (事前申込不要)

13:20 開会あいさつ 日本診療放射線技師学会 宮城県支部長 宮花 茂(東北大学病院)

講演1 <庭長> 伊藤 真理(小宮中央病院)

13:30 「高脂肪・低線量によるムロンドレンにも対応！」 AMULET Innovativの魅力とは？」 野中 歩美(生野市立中央市民センター)

14:00 富士フィルムメディカル株式会社営業本部 IMS部部長 藤本ひろ子

休憩15分 Break Time (15分)

講演2 <庭長> 星 由紀子(JCHO品川病院)

14:15 「マンモグラフィによる乳がん検診 ～宮城県対がん協会検診データの探微～」 八島 孝子(生野市立中央市民センター)

14:45 宮城県対がん協会 放射線技師

講演3 <庭長> 伊藤 明彦(日本診療放射線技師クリニック)

14:45 乳がん診断の最新トピック

15:15 「乳がん放射線治療の実際 ～最近感じて治療します～」 山田 絵里佳 先生
 福島県立医科大学附属病院放射線科

休憩20分 Break Time (20分)

特別講演1 <庭長> 長谷川 文貴子(岩手県立病院)

15:35 「最新の乳癌診療の考え方」

16:20 「最新の診療ガイドラインの放射線治療を中心に～」

特別講演2

16:30 「高濃度乳房について考えてみよう」 大貫 孝二 先生
 岩手県立中央市民病院 乳腺・内分泌外科

17:15 ～高濃度乳房の性質に迫るか～

開会あいさつ みちのくこまち代表 佐藤 隆雄 (山形県立西病院)

2019年

8月10日(土)

13:20▶17:20 (1:40受付開始)

仙台市シルバーセンター
 交流ホールにて

公共交通機関をご利用ください

仙台駅
 徒歩15分

岩手県立中央市民病院
 徒歩10分

主催：公益社団法人 日本診療放射線技師学会 / 東北女性診療放射線技師学会 / ワークグループ

共催：公益社団法人 宮城県放射線技師学会 / 青森県診療放射線技師学会 / 秋田県診療放射線技師学会 / 福島県診療放射線技師学会

一般協賛：岩手県診療放射線技師学会 / 山形県診療放射線技師学会 / 山形県がん研究協会 / 山形県乳癌研究会



仙台国際センター



第9回 Tohoku Congress for Radiological Technology
東北放射線医療技術学術大会

(公社) 日本放射線技術学会 東北支部第57回学術大会
(公社) 日本診療放射線技師会 令和元年東北地域学術大会

大会長 坂本 博 (東北大学病院)
実行委員長 斎 政博 (東北大学病院)

大会テーマ
『Beyond all Radiversity』
～ マルチモダリティの聲 ～

2019年
10月26日 土 - 27日 日

会場：仙台国際センター 展示棟

(公社) 日本放射線技術学会 東北支部
(公社) 日本診療放射線技師会 東北地域診療放射線技師会

第9回東北放射線医療技術学術大会事務局
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院診療放射線科第2門
TEL 022-717-7418